

3類型	鋳工業品	通巻番号	5-19-029
地域資源名	彦根バルブ	認定日	平成20年2月15日
地域	滋賀県東近江市	所管省庁	経済産業省

事業名：業界初のカムレバーロック式 水道用急速空気弁の開発販売

会社名：協和工業株式会社

所在地：滋賀県東近江市小田刈町1790

連絡先：TEL：0749-45-0561

H P：http://www.kyowakk.com/

FAX：0749-45-2393

事業概要(新たな活用の視点)

- ・彦根バルブは、滋賀県彦根市で明治の中期に門野氏が蒸気用カランを手がけたのが始まりと言われており、彦根市を中心に産業用バルブとそれを取り巻く近隣周辺部一帯に地場産業として根付いたものである。
- ・現在では、30社前後のブランドメーカーと、約200社からなる関連企業で構成され、滋賀県の主要産業の1つとなっている。
- ・近年、全国市場での船用・陸用バルブの輸出が好調になり、年間4,400億円規模まで回復している一方、滋賀県内の水道バルブだけで見た場合、生産高100億円程度にまで落ち込んでいる。
- ・本事業では、使用者のニーズを反映した業界初のカムレバーロック式急速空気弁の開発・生産を行う。



【協和工業(株)のバルブ製品群】

【水道用地下式消火栓 排気弁付】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

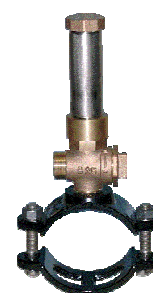
- ・現在競合する従来型の水道用急速空気弁は、小型・軽量であること等を重要視しており、本製品のように維持管理を主眼としているものはない。
- ・カムレバーロック式とすることにより、10～20分かかっていた維持管理作業が5分以内で行うことが可能である。またフロート弁体の形状を変形することにより傾斜にも耐え、施工の柔軟性を確保出来る製品となっている。

◆市場性

- ・水道用バルブ市場も官公庁の緊縮財政による公共投資の減少等により、維持管理費の削減も求められている。
- ・水道用急速空気弁は、現在では年間約40,000台が出荷され、概ね20億円の市場と見られる。

◆販路

- ・協和工業(株)の既存製品である「水道用地下式消火栓 排気弁付」は、現時点で全国の40都道府県250市町村の納入実績があり、本事業の開発製品も同じルートを活用して需要開拓をしていく。



【簡易空気弁】

地域資源における関係事業者との連携

- ・日本水道協会(彦根市)には、検査等を含め、相談し、図面確認の後に製造体制を整える。
- ・東北部工業技術センター(彦根市)、滋賀バルブ協同組合(彦根市)では、技術指導、テスト等の依頼を行う予定としている。